



中学校生活を楽しく過ごすために

子供たちは将来、大人になって仕事や生活などで困らないために、色々な力を身に付けておく必要があります。まずは中学生までに身に付けたい力を、ひかりルームでは下記のような観点で「中学生になるために必要なこと」として学年に応じて指導しています。

- ① 人の話を聞く。
- ② 状況に応じて適切な言葉遣いで話す。(敬語など)
- ③ 正しい姿勢でいすに座る。
- ④ 勉強しやすいように、机の上の物を整理する。
- ⑤ 筆箱の中身をそろえる。
- ⑥ 毎日、家庭学習(宿題)をやる。
- ⑦ 夜9:00~9:30頃には寝る。
- ⑧ 正しい姿勢で書く。(利き腕でない手を添えながら)
- ⑨ 箸、鉛筆や定規などを正しい持ち方で持ち、正しく使う。
- ⑩ 相手に読める字で書く。
- ⑪ 持ち物など、必要なものをメモする。
- ⑫ 板書をノートに写す。
- ⑬ 自分が書いた文字の誤字脱字を、自分で見つけて訂正できる。

2012年の調査では、「学校が楽しい」と感じている生徒は、中学校の初期段階(入学後から夏休み明けまで)で、就寝・起床時間などを正し、自分のことは自分で行おうとする態度が顕著だったことが明らかになっています。つまり、「学校が楽しい」と感じている生徒は、規則正しい生活を自分で行おうとしているということが分かります。中学生になるまでに「自分のことは自分です」「規則正しい生活を自分からしようとする」といった意欲をひかりルームでも高められるよう、指導してまいります。特に①~⑦は、ご家庭での指導も大切になります。新しい年を迎えたことを機会にぜひ取り組んでください。

